

あなたなら きっと できる！

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第4号 平成30年6月22日発行

高等部の職業科体験学習

中間テストが終わった5月30日(水)3・4時間目に、中3の6、7、8組の生徒の高等部職業科の体験学習を行いました。生活デザイン科では食物調理(ピザ作り)、産業工芸科では工業技術(やじろうべえ作り)と実習が主です。実際にその学科で



学んでいる先輩から中学部卒業のこと、資格取得に向けて努力を重ねてきた体験談もありました。高等部を卒業した後の未来図にも考えを向けることの大切さを中3の生徒たちは感じたようです。次回は、期末テストが終わった日に、今回体験していない職業科を体験する予定です。



専攻科 職場見学

6月8日(金)専攻科1年生が職場見学へ行ってきました。生徒の感想の一部を紹介します。

(独)国立印刷局

- ・紙幣の偽造防止技術に驚いた。
- ・セキュリティの厳しさに、ここで働くためには信頼される人でなければと思った。
- ・採用試験の話を知ることができて良かった。

(株)博報堂DYアイ・オー

- ・特例子会社なので、聴覚障害者だけではなく視覚障害者や車イスの人も働いていた。
- ・様々な障害者がいるので、施設や設備が工夫され環境が整っていた。
- ・健聴者も手話を使ってコミュニケーションを取っていた。
- ・二人の先輩からアドバイスをもらい勉強になった。



本科1・2年Aコース 進路見学会を終えて

6月12日(火)国立障害者リハビリテーションセンターと国立職業リハビリテーションセンターに行ってきました。行き先を聞いたとき、初めて聞く名前だったのでどんな所かなと思っていました。どちらも障害者のための施設で、障害者が自立して生活していけるように様々な知識や技能を身につけ就職できることを目指していました。障害者をサポートする補装具を作る、色々な情報を得たり体験ができたりして障害者に良い施設だと思いました。自分の障害を受け止め、自分なりに行動したり働いたりする人々の姿は凄いことだと感じました。卒業後の進路はまだ決まっていませんが、とても参考になりました。(高等部2年)



進路関係者向け学校公開

6月19日(火)進路関係者(企業・福祉関係者等)32事業所・45名の方が来校されました。障害者の雇用を積極的に行い、本校の卒業生を多く採用している企業の方や今後雇用をしたいと考えている企業の方など、多くの方にご参加いただきました。授業見学・施設見学を行い本校の生徒について知っていただく機会となりました。本校の就労支援アドバイザーでもあるマルイキットセンターの堀様より、聴覚障害者が働く職場環境で配慮すべきことなどを簡単にご講演頂きました。なかなか顔を合わせる機会のない企業の方や福祉関係の方が、互いに情報交換をする場ともなりました。